

さて、2024年は日本言語聴覚学会(神戸)と日本聴覚医学会(池袋)の2つの学会に参加しました。今年はそれぞれ山形と成田で開催され、どちらにも出席する予定です。学会の様子についても、カスタネット通信でご紹介したいと考えています。



はながたベニちゃん

山形市のお宝
広報大使です

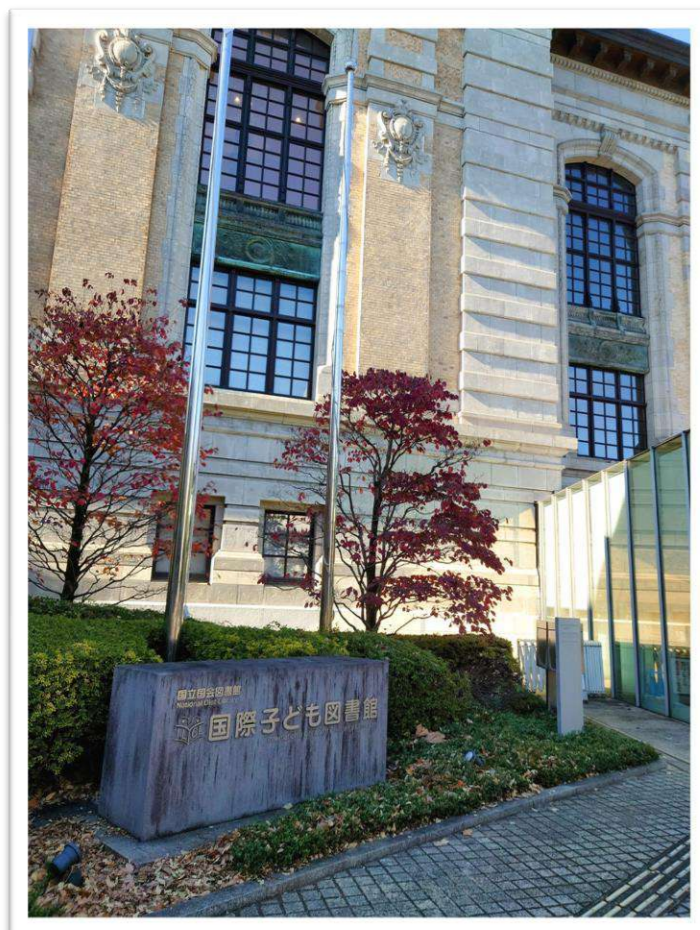


うなり星から
地球に来たよ



うなりくん

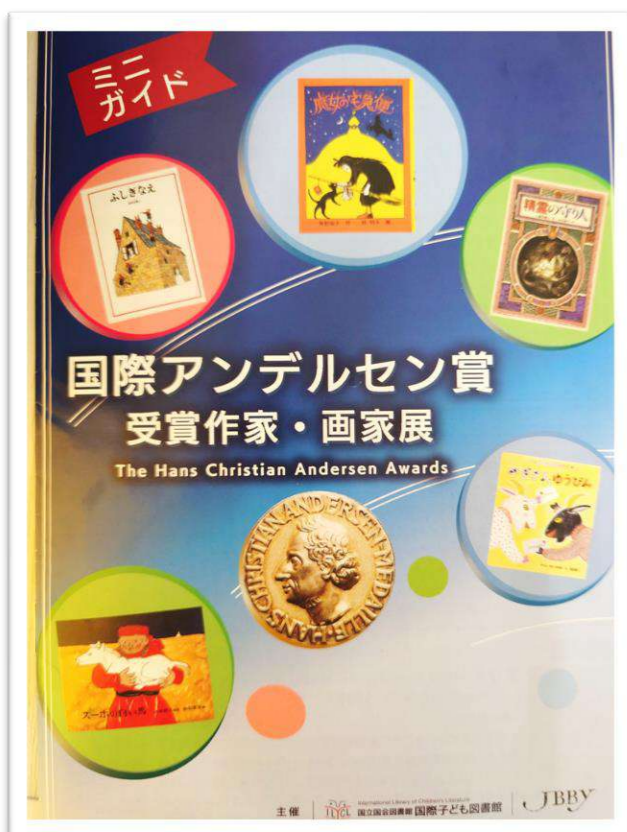
『国際子ども図書館』で絵本をゆっくり楽しみませんか ❄️❄️❄️❄️❄️❄️



【写真①】

2024年11月半ばの日曜日、二人の友人とともに『国立国会図書館 国際子ども図書館』を訪ねました。JR上野駅の公園口から10分ほど歩き、音楽堂を左に見て少し進むと見えてくるレンガ造りの建物で、ガラス張りのエントランスがあります【写真①】。明治時代に作られた旧帝国図書館の建物を改修してレンガ棟として受け継ぎ、2015年に中庭を挟んでアーチ棟が加わりました。これら新旧のコントラストが美しい施設内に、世界の児童書を集め陳列する、まるで絵本の博物館のようです。でも図書館ですから？入館は無料、クラシックな建物の外装にまず圧倒され、黒光りする木と白壁の内装に癒され、そして国内外の新旧の絵本を自由にめくって楽しみ、中庭に面したカフェで休憩し、と贅沢な数時間を過ごすことができました。

この図書館の役割は3つあり①国内外の児童書を集めて調べものに役立てる ②子どもと本の触れ合いの場として、全ての子どもに図書館や読書に親しむきっかけをつくる ③子どもの本のミュージアムとして文化に親しむ場を提供するというものです。これらの目的に沿ったいくつかの部屋があり、どこも興味深いのですが、1階の『世界を知るへや』で出会った世界各地の民族色豊かな多様な絵本と、2階の『児童書ギャラリー』に並んだ明治時代から現代までの日本の代表的な絵本の数々が、私には特に印象的でした。



【写真②】

赤羽末吉 画「スーホの白い馬」、安野光雅 え「ふしぎなえ」、
角野栄子 作「魔女の宅急便」はオギジビ文庫にご用意しています！

神奈川から上野は少々遠いですが、広々とした上野公園の散歩も楽しみながら、一度おでかけになってはいかがでしょうか。 (鈴木)

